

旧型機アップグレードプログラム

オーストラリア・Phoenix Biosystems 社製自動製麦装置は 1987 年のリリース以来、世界中の麦芽研究機関等で使用されてきました。日本国内でも大手ビールメーカー、大学、農業試験場等の研究用として、11 台の納入実績がございます。

同社では継続的な機能向上に努め、機械、電気、コンピューターの各分野で最新のテクノロジーを反映させてきました。特に、1999～2000 年にかけて、冷却機構、水循環、電気システム等の大きな刷新を行い、またソフトウェアの改良もそれらの新システムに合わせて実施されています。

そこで、それ以前に導入されたユーザー様に対して、本体の高価なステンレススチール材基本フレーム部はそのままに、低価格で現行の最新機構を組み込むアップグレードプログラムをご用意しています。現在ご使用の機械が長期間の稼働を経て機能低下や不具合が見られるようになった、より信頼性の高いデータを得られるよう最新式の機械にしたい、とお考えのユーザー様は、費用対効果抜群の本プログラムをぜひご検討ください。



アップグレードのおもな内容

機械関係

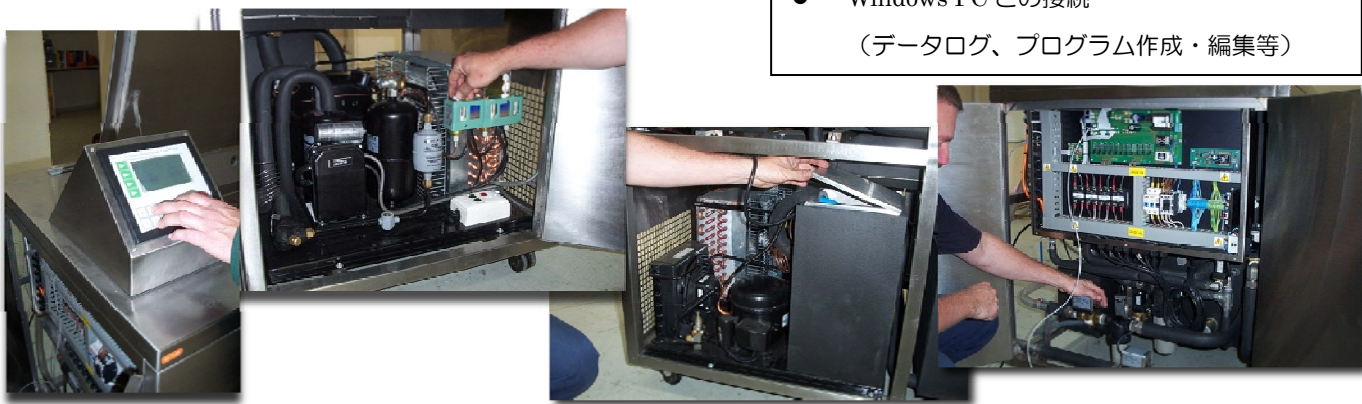
- タンク一体型熱交換プレート（交換）
- 新冷却システム（交換）
- 水冷式エア冷却システム（新設）
- ハイフローポンプ&バルブ（交換）

電気制御関係

- 本体一体型コントローラーパネル（新設）
- 本体一体型電気制御ボックス（新設）
- オリジナルキルンヒーター（交換）
- ダクト内温度・湿度センサー（新設）

ソフトウェア関係

- フレキシブルなプログラム
- Windows PC との接続
(データログ、プログラム作成・編集等)



- 本プログラムは、機械本体をオーストラリアのメーカーへ送り、現地でアップグレードを実施した上で再度日本へ輸入する手順となります。そのため、機械をお預かりしてから納入まで約6ヶ月の期間を要します（海上便利用）。
- ご使用の機械の仕様によって、本プログラムでアップグレードする範囲が異なる場合がございます。